

2023年3月期1Q決算に関するQ&A（要旨）

この質疑応答集はスモールミーティングなどで、投資家の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

Q1. 1Qの業績について、当初計画と比較した場合の進捗状況を教えてください。また為替レートの計画も教えていただけますか。

A コロナからの回復を計画に織り込んでいましたが、その計画と比較しても順調な立ち上がりです。特に映像制作サービス（海外）が想定を上回りました。また海外の売上は円安がポジティブに影響しています。為替レートは開示しておらず具体的な数値は差し控させていただきますが、今期の計画を策定した時期（2021年12月頃）の為替レートを使用しています。

Q2. 海外の動画配信市場は競争が激化しており、配信事業者の新規会員数が減少するなど、業績が厳しくなってきたのではという記事が出ています。1Qにおける貴社のグローバルE2E事業について影響や変化はありますでしょうか。

A 一部の動画配信事業者様において、人材の採用抑制などの報道があるようですが、1Qにおいて当社のグローバルE2E事業での受注はブレーキがかかるというより、むしろ加速していると感じています。E2E事業に対する需要は全体的に強く、しばらくこの傾向が続いていくと想定しています。

* グローバルE2E事業に属する海外子会社の決算期は12月で、1Qは現地2021年1月～3月の数値を取り込んでいます。

Q3. グローバルE2E事業は拠点拡張を進めていると伺っていますが、拡張に伴う費用計上は既に1Qから始まっていますか？

A 国内は、すでに昨年度の年末に拠点を竹芝へ移転しており、1Qから償却負担が発生しています。海外については、2Q以降において徐々に償却負担が発生していく予定です。

Q4. 映像システム事業のハイスピードカメラへの半導体不足の影響はどう想定されていますか？

A 受注は堅調に推移していますが、2Qまでは半導体不足の影響によって出荷が遅れていることから、業績への影響があると見込んでいます。

Q5. 映像コンテンツ事業の1Qにおいてアニメ作品の延期、ライトノベル作品の反動減とありますが、それぞれの程度のインパクトだったのでしょうか？

A それぞれ具体的な影響額の数値は控えさせていただきます。ただし、ライトノベルの反動減はそれほど大きいものではなく、またアニメ作品の延期は影響が大きいものの、2Q以降で作品を納品し売上計上できる予定なので、影響は挽回できると考えています。

以上